

後藤^{しんぺい}新平・新渡戸^{にとべいなぞう}稲造記念

全国高校生・留学生作文コンクール2021 入選



長浜高等学校 2年
石本 萌 佳 さん

石本さんは、後藤新平・新渡戸稲造記念第23回全国高校生・留学生作文コンクールに、SDGsとAI（人工知能）をテーマに「子どもたちの未来とAI」と題した作文を応募し、見事入選に輝きました。

石本さんは作文のなかで、SDGsの「質の高い教育をみんなに」という目標を達成するためにAIが活用され始めている「タブレット教育」「子どもの遊び相手をするAI」「赤ちゃんの泣き声をAIが分析するアプリ」の事例を挙げて、AIで子どもが育てられるのかを考察しました。そして将来AIの技術が進み、子どもをAIがすべて育てられる世界になっているかもしれないが、子どもに愛情を注ぐことは人にしかできず、愛情を親から受け取って初めて子どもの心は育っていくので、AIと共存していく必要性とAIを活用して仕事の効率化を向上させることで子どもと過ごす時間を増やす大切さを説いています。

保育士を目指している石本さんは「都会の保育所ではタブレットを使ったり英語を教えたりしているので、地元でタブレットを使って英語もできる保育士になりたい」と将来の目標を話してくれました。

HighSchool NOW

Vol.60 大洲高等学校肱川分校

～市内5校の高校生によるリレーエッセイ～

みなさんこんにちは。大洲高等学校肱川分校2年の藤岡^{かない}奏伊です。

今年度の開校記念行事として、敷地内の壁に苔^{こけ}アートを作成しました。「HIJIKAWA」の文字の型枠を作り、高圧洗浄機を使って壁の苔を削りました。水圧で水や苔が飛び散るので、傘でみんなを守ったりすることも楽しかったです。みんなと協力して作品を作り上げることができて、楽しい思い出になりました。みなさん、ぜひ見に来てください。



一回は大洲農業高等学校からです。一

きらめき

ニュース

シリーズ

お知らせ

情報ひろば

図書館

未来を拓く

保健センター

相談・救急

表彰 おめでとうございます

1月9日(日)、大洲市きらめき大賞と大洲市地域づくり表彰の表彰式を行いました。受賞されたみなさんをご紹介します。

大洲市きらめき大賞【大洲高等学校カヌー部】

大洲高等学校カヌー部は、令和3年度全国高等学校総合体育大会カヌー競技大会において、3年生4人のチームで男子カナディアンフォア500m決勝に出場し準優勝となりました。また、男子カナディアンフォア200mでは、見事1位でゴールし優勝に輝きました。インターハイ・カヌー競技での表彰台は、愛媛県勢初の快挙となりました。(写真:左から木元鉄さん、森俊輔さん、竹岡陽紀さん、源田颯龍さん)



大洲市きらめき大賞【大洲市青年農業者協議会】

大洲市青年農業者協議会は、全国青年農業者会議2020優秀農業青年クラブ表彰において「若い力で大洲の農業を元気に!!～餅を通じた地域おこし～」のプロジェクト発表で最高位の農林水産大臣賞に輝きました。同協議会の食農教育や地元農産物のPR活動、マーケティングに基づいた加工品の開発・商品化、災害からの復旧・支援活動などが評価されたものです。(写真:左から竹岡勝宏さん、沖野順一さん)



大洲市地域づくり表彰【楠崎 倭子さん】

楠崎さんは、夫の篤夫さんと共に「親子でよい音楽をきく会」を立ち上げ、平成29年度までの約30年にわたり「夏休み親と子のコンサート」を開催し、国際的に活躍されている演奏者の招へいなど、コンサートの運営に尽力されました。また、読書会での読み聞かせや、読書活動研究集会での事例発表を通じて、本や読書の楽しさ、大切さを伝える活動を続けてこられました。



「元気歯つらつコンクール」入賞【80歳以上で自分の歯が20本以上ある人(8020)が対象です】



有友 恒 男 さん



大野 泰 俊 さん



二宮 廣 志 さん



「親と子のよい歯のコンクール」優秀賞

愛媛県と県歯科医師会が主催する令和3年度「親と子のよい歯のコンクール」で中川すみれさん・祭さん親子が優秀賞を受賞しました。

このコンクールは、前年度に3歳児歯科健診を受けた子供とその親が対象で、虫歯の有無など歯と口の状態が健康で優秀な親子を表彰しているものです。中川さんは歯の健康を維持するために「おやつを決めています」と話していました。



第33回全国高等学校駅伝競走大会出場

12月20日(月)、八幡浜高校陸上部の大洲市出身の選手4人が東山教育長を表敬訪問しました。同校陸上部は、11月に行われた県予選で優勝し12月26日(日)に京都市で開催された全国大会への切符を獲得しました。3年生の徳山さんは「3年間やってきたことを全て出し尽くして悔いのない走りをしてきたい」と抱負を語っていました。(写真：左から小野鈴花さん、徳山和さん、石山この葉さん、東美桜さん)



人命救助した郵便局職員へ感謝状贈呈

12月21日(火)、大洲市高齢者見守りネットワーク協力事業者の日本郵便株式会社大洲郵便局と職員の河野孝志さんに人命救助への感謝状を贈呈しました。

河野さんは、令和3年8月に配達先で市内高齢者の異変をいち早く察知して、救急車を呼ぶなど、迅速かつ適切に対応したことで、市民の尊い命を救うことに尽力しました。

(写真：左から河野孝志さん、局長の坂田憲治さん)



JA愛媛たいき女性部とリモート交流会

12月23日(木)、大洲農業高校で食品デザイン科の3年生12人とJA愛媛たいき女性部のみなさんとのリモートによる交流会が行われました。高校生からは、竹炭を使った市松模様クッキーの開発やシイタケ粉とベーコンを使った料理研究などの発表を、女性部からは活動内容を報告しました。意見交換では、女性部から商品開発の工夫点などをアドバイスし、頑張った分だけ成果に現れる農業の魅力を伝えていました。

伊予灘ものがたり初代車両ラストラン

12月27日(月)、JR四国の観光列車「伊予灘ものがたり」の初代車両（キロ47形）がラストランを迎えました。平成26年7月26日に運行を開始してから約7年半で14万人以上の乗客を乗せて伊予灘と肱川沿線を走り抜けました。この日の大洲城では、多くの人々が感謝の気持ちを込めて幟旗を振り、最後の運行を見送りました。今年の春からは、2両から3両編成となった新しい車両（キハ185系）が運行します。



火災予防に向けて年末夜警出発式

12月28日(火)、市役所玄関前で大洲市消防団の年末夜警出発式を行いました。冬の到来により暖房器具など火気使用の増加や、年末の慌ただしさから火気の取り扱いがおろそかになり火災発生の危険性が高まることから、市消防団では、市民のみなさんに安心して新年を迎えていただくために、毎年12月28日～30日の3日間にわたり、市内各地区で夜間の見回りや防火啓発活動などに従事しています。



ワクチンの集団接種協力に感謝状贈呈

1月5日(水)、大洲市における新型コロナウイルスワクチンの集団接種にご協力いただいた事業者に感謝状を贈呈しました。一般社団法人喜多医師会と愛媛県薬剤師会大洲支部は、集団接種に従事する医療関係者の確保をはじめとしたワクチン接種の推進に多岐にわたりご貢献いただき、ダイナム愛媛大洲店は集団接種関係者駐車場として店舗敷地を無償で提供され円滑な接種に寄与されました。



新成人の門出を祝う冬花火

1月9日(日)、肱北河原でサプライズの冬花火が打ち上げられました。コロナ禍の影響により川まつり花火大会冬の陣も観客を集めて開催できない中で、未来を担う新成人のみなさんに困難に負けず希望を持っていただこうと、成人式の式典内のみで告知を行うサプライズ形式で市観光協会などで組織する川まつり花火大会実行委員会が実施したものです。15分間という短い時間でしたが冬の夜空に大輪の花が咲きました。



きりめき

ニュース

シリーズ

お知らせ

情報ひろば

図書館

未来を拓く

保健センター

相談・救急

大洲市成人式（令和3年度新成人者）

1月9日(日)、大洲市民会館で令和3年度新成人のみなさん（450人）を祝福・激励する成人式を開催しました。式典では、二宮市長が「持続可能で魅力あふれるまちづくりを進めるためには若いみなさんの力が必要です。コロナ禍を一緒に乗り越え、新しい大洲を共に創っていただけることを願っています」と式辞を述べ、新成人を代表して中東茜さんが「私たちは、多くの方々に支えていただき成長することができました。今まで出会えた方々に“ありがとう”を伝えたいです。これからは、私たちがお世話になったたくさんの方々に恩返しをする番です。今の私たちが出来ることを精一杯していきましょう」とお礼の言葉を述べました。



きりめき
ニュース
シリーズ
お知らせ
情報ひろば
図書館
未来を拓く
保健センター
相談・救急

十日ゑびす祭りの大鯛まき

1月10日(月)、大洲神社の十日ゑびす祭りで、新型コロナウイルス感染症の影響で2年ぶりの開催となった大きな鯛がもらえる餅まき「大鯛まき」が行われました。今回、重さ約8キログラムの天然マダイを獲得したのは、女性の部が松山市の富永球荷さん(写真右)と男性の部が市内の仲岡浩司さん(写真左)です。2人は「ご利益があるようにみんなで分けて食べたい、今年はとても良い年になりそう」と話していました。



いちご狩り体験会

1月14日(金)、川本観光いちご園の開園に先立ち、菅田こども園の園児19人がいちご狩り体験会に招待されました。同いちご園では、23.5アールに紅ほっぺ、赤い雫、恋みのりなどの品種を栽培し、5月上旬までいちご狩りが楽しめます。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により休園となっている場合があります。詳細は川本観光いちご園のホームページをご確認ください。⇒⇒⇒



「大洲のええモン」オンライン商談会

1月18日(火)、市役所で首都圏のバイヤーと大洲ええモンセレクト認定事業者などの食品関連事業者や生産者をオンラインでつないだ商談会を開催しました。高品質なブランド食品を取り扱うクイーンズ伊勢丹や高島屋、全国各地の美味しくて安全安心な商品を販売しているまるごとにつぼん、京北スーパーなどの仕入れ担当者に事前に送付した商品やカタログを見てもらいながら「大洲のええモン」を売り込みました。



がりゅうさんそう 臥龍山荘庭園 国指定名勝記念碑を建立

1月20日(休)、臥龍山荘庭園の国名勝指定を記念した石碑の除幕式を行いました。臥龍山荘庭園は、令和3年10月11日(月)に臥龍山荘と臥龍の淵、蓬萊山で構成された一帯が鑑賞上の価値、日本庭園史における学術上の価値などが高く評価され、国の名勝(庭園の重要文化財)に指定されました。庭園の魅力を市政広報番組(YouTube)で紹介しています。ぜひご覧ください。市ホームページ⇒



きりめき

ニュース

シリーズ

お知らせ

情報ひろば

図書館

未来を拓く

保健センター

相談・救急

豊 交 流

愛媛・大分両県の自治体同士で、互いに地域の魅力を紹介する取組を行っています。豊予海峡を挟んだ海の向こう側に目を向けてみましょう。

臼杵市 ～豊かな自然と歴史に育まれた食文化のまち～

臼杵市は、去る11月8日に「ユネスコ創造都市ネットワーク」の食文化分野への加盟を果たしました。これは、長年培われてきた、発酵・醸造文化や有機農業の推進などの取組が世界的にも評価されたものと考えています。

また、「田舎暮らしの本」2022年2月号（宝島社）にて掲載された、『2022年版住みたい田舎ベストランキング』では、シニア部門第1位（人口3万から5万人のまち）を獲得しました。

今回は、高く評価されている臼杵市の食文化や居住環境について紹介します。

発酵・醸造と質素儉約、循環型の食文化

臼杵市は、地質と地形に恵まれ、きめ細やかで、まろやかな柔らかい水に恵まれています。

この水が重要となる醸造業が1600年頃から始まり、人々が伝統を守りつつ、改良を加えてきた味噌・醤油・酒造りや、質素儉約の中で知恵を絞って生まれた郷土料理など、多様な食文化が発展してきました。

近年では、こうした市民が大切に培ってきた食文化に加え、有機農業や地産地消も推進しています。例えば、日本で唯一、市が草木などを主原料とした完熟堆肥を生産し、それを畑で使って育てられた「ほんまもん農産物」は市内外でもたいへん人気のブランド商品です。

臼杵市の歴史文化薫る食を、ぜひご賞味ください。



質素儉約の中で生まれた郷土料理



ほんまもん農産物

住み心地一番のまち臼杵

臼杵市は海、山、川など豊かな自然に囲まれたまちでありながら、生活に必要な場所がコンパクトにまとまっているほか、近隣へのアクセスも良く、市外への通勤もしやすい“ほどよさ”が人気です。

臼杵市への移住は、若年・子育て世代はもちろんシニア世代からの人気も高く、空き家バンクを活用して住宅を購入し、家庭菜園をしながら悠々自適な暮らしがしたいという要望をいただくことがあります。空き家バンクの物件を畑とセットで購入し、移住後に有機農業を始めたシニア世代もいます。

また、医療や介護も充実しており、行政と医師会が連携した「うすき石仏ネット」という医療・介護施設・消防署を結ぶ情報ネットワークがあります。これまでの病気や薬の内容、検査結果などを記録して、参加機関の間で共有し、無駄のない質の高い医療・介護サービスを提供しています。救急車を利用する際、消防職員が病気の状態を素早く把握することができ、適切な医療を施すことで、一命をとりとめる例も出てきています。



臼杵市の風景



臼杵石仏ネットのイメージ

【問い合わせ先】 臼杵市役所 秘書・総合政策課 ☎0972(63)1111

【春キャベツたっぷりサンドイッチ】



材料（2人分）

春キャベツ	200g	
食パン	4枚（6枚切り）	
バター	適宜	
ニンジン	50g	
卵（目玉焼き）	2個	
A	マヨネーズ	大さじ3
	ナツメグ	2ふり
	砂糖	1つまみ
	粒マスタード	大さじ1

作り方

- ① 春キャベツは千切りにし、Aを混ぜ合わせて^あ和える。
- ② ニンジン^あはスライサーでできるだけ細かい千切りにする。
- ③ 食パンの片面にバターを薄く塗り、目玉焼きをのせ、①のキャベツをこんもりとのせる。軽く平らにならして②のニンジン^あをのせ、もう片方の食パンをのせる。
- ④ ラップで包み、キュッとプレスして野菜と食パンがなじんだら、半分にカットする。

春キャベツの栄養

この時期にしか食べるのでできない春キャベツは、冬キャベツに比べてビタミンCやカロテンの含有量が多くなっています。しかしキャベツ特有のビタミンUやビタミンCは、水に溶けやすく熱にも弱いため、できるだけ生で食べることをおすすめします。食べ方は、サラダだけでなく、ピクルスや生ジュースなどにしても良いでしょう。また、加熱する場合は、さっと炒めるか煮込み料理などスープごと食べられる料理がおすすめです。



【レシピ提供：大洲市保健センター】

私たちにもできる

SDGs



この目標は、「だれもが安くて、現代的なエネルギーを安定的に利用できるようにして、再生可能エネルギーの割合を増やすとともにエネルギー効率も良くしていこう」とするものです。

電気は、私たちの生活に欠かせないエネルギーですが、世界には未だに約7億8900万人が電力を使えない状況にあります。そして再生可能エネルギーは、太陽光や風力、地熱など、自然の力により生み出されることから、資源がなくなる心配がなく、二酸化炭素を排出しないクリーンなエネルギーです。石油や石炭などを元にしたエネルギーは、二酸化炭素を排出することから地球温暖化や気候変動の原因の一つになると言われています。

日本は、エネルギー資源の多くを輸入に頼っています。エアコンの温度を冬は低め、夏は高めに設定するなど身近な節電に取り組みながら、未来のエネルギーについて考えていきましょう。

文化財

藤縄神楽
愛媛県指定無形民俗文化財
藤縄神楽保存会



ふじなわかぐら
藤縄神楽は、矢落川上流域に位置する柳沢地区で伝承されている神楽で、厄除けの祈願を兼ねて、2月から5月の春祭りにおいて多くの神社で演じられています。

起源については不明ですが、弘化2（1845）年の記録（栗田家文書）によると、神職により神楽が行われていましたが、明治時代以降に神職の手から離れて、現在のような地域の神楽師に受け継がれました。

演目は全18部で構成され、観客と戯れたり曲芸などの見せ場が多いのが特徴で、特に鬼と観客のやりとりなどは人気があります。

伝承の過程で娯楽化が進んだ箇所がみられるなど、県内外の他の神楽とはその発達過程が異なり、地域的特色を示すものとして重要な神楽といえます。（平成22年2月23日指定）